

平成30年度 教育研究（研修）の充実に関する研究グループ 活動報告

1 教育研究（研修）グループ組織

	道徳班	外国語・英語班	体育実技研修班
グループ主任	堀江 充（名寄西小）		
副主任	橋 早智子（智恵文小）	妹尾 洋美（智恵文中）	
研究主任	澤田 克之（名寄東小）		
副主任	喜多 康洋（名寄西小）	塩満 義史（風連中）	重森 哲夫（風連下多寄小）
委員	本松 宏章（名寄小）	手塚 諒（名寄東中）	
	小林 佑貴（名寄東小）	米田 真（智恵文中）	
	高橋 理（名寄中）	三原 和也（名寄西小）	
	鬼原 善彦（風連中）	福川 岳樹（名寄南小）	
	東 健太（風連中央小）		

2 研究内容

■新たな課題に対応できる力量を高める研修

- 「特別の教科道徳」，外国語活動，外国語等の授業研究
- 道徳科の読み物資料の作成（木原秀雄氏）
- 特別な支援を必要とする児童生徒の指導の充実
- ICT 機器の効果的な活用の調査・研究（名寄市学校教育情報化推進委員会の取組の共有）

■体育，保健体育の充実

- 体力・運動能力調査の結果・分析を踏まえた研修の実施
- 体育，保健体育の授業研究

【外国語班】

- 外国語教育に関して
- 外国語の授業展開について研修の深化
 - 外国語授業実践

【道徳班】

- 道徳科に関して
- 道徳指導について研修の深化
 - 道徳の評価について
 - 道徳新教材（木原天文台）の開発
 - 道徳授業実践

【保健・体育班】

- 体育科，保健体育科に関して
- 体育科授業の充実
 - 運動能力，運動能力，生活習慣等調査の分析，活用・SC 課事業との連携

3 今年度の活動経過

年	月	日	道徳班	外国語科班	保健・体育班
30	4	24	<input type="checkbox"/> 第1回教育改善プロジェクト委員会（名寄市役所） <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究グループ会議		
	5		☆道徳教材～内容構成 検討①		
	5	23	<input type="checkbox"/> 第2回教育改善プロジェクト委員会		
	5	24			☆新体力テストに関わ る研修会（名寄西小） ○名寄小の実践発表 ○運動能力向上のヒント ＊いずれもスポーツ合宿・ 合宿推進課
	6		☆道徳教材～第1次打 診(教育委員会)	☆「外国語活動・英語を 行うにあたっての実 際」 ○講師 中名寄小 久保 教諭	
	6	15	内容構成検討② ☆道徳教材～内容構成 検討③		
	7～8月		☆道徳指導案完成		
	9				☆名寄市の傾向分析
	9	21		☆公開授業 ○智恵文中 米田教諭	
	9	25	☆公開授業 ○風連中央小 東教諭		
	10		☆成果と課題の検討 来年度に向けての指 針確認	☆成果と課題の検討 来年度に向けての指 針確認	☆名寄市の今年度の成 果について(分析結果 を市教委と検討し、市 内各学校に提供)
	11	14	名寄市教育研究大会		
	12		各班の研究成果のまとめの集約		
	12	13	<input type="checkbox"/> 第3回教育改善プロジェクト委員会		
	12	17			☆体育実技研修(名寄小) ○機械・マット運動を中 心とした実技研修
31	1	22	名寄市教育研究集会 EN-RAYホール		

4 今年度の活動

(1)新体力テストに関わる研修会

資料1

参加者：名寄市内小学校教員，中学校の体育科担当教員等

合計39名

成果：○講師として招いた阿部氏，豊田氏の理論に基づいた説明は大変わかりやすく，指導技術等において知識を深めることができた。

○参加者も実際に体を動かし，体感することで，日常の授業実践に生かせる内容が多くあった。



課題：▲期日については肯定意見が多かったが，小学校での運動会の取組が始まるもう少し前に実施できるとより効果が高いと考えられる。

▲走力以外の実技研修を望む声もあり，来年度に向けて研修を位置づけていくのであれば，講師の招聘や場所，時期，授業時数等を中心に総合的に検討し，参加しやすい体制づくりを考えていかなければならない

(2)外国語活動・英語科授業の指導に係る研修

資料2

参加者：名寄市内小中学校外国語活動・英語科担当教員等

合計38名

成果：○グループでのワークショップを通して，外国語活動や英語の実践的な指導方法を学ぶことができ，受講者にとって有意義な研修会となった。

○新学習指導要領における外国語活動や英語科の指導のポイントについて学ぶことにより，小中連携や小小連携の重要性について確認することができた。

課題：▲参加した教員の多くは，実践的な指導方法について学ぶことを望んでおり，今後もより実践的な指導方法を学ぶ研修を設定する必要がある。

▲英語のスピーキング力を課題としている教員が多く，実際に英語を話す研修が必要である。



(3)外国語活動・外国語科公開授業研修会

資料3・4

成果：○実際に英語を使った授業を公開することにより，ウォームアップの方法やアクティビティの実践について学ぶことができた。

○明日からの授業に取り入れることができるアクティビティを実際に体験し学ぶことができた。

○小中合同授業を参観することにより，外国語指導における子どもの様子や課題について確認することができた。



課題：▲受講者の多くは実践的な指導方法について学ぶことを望んでいる。今後も授業ですぐに実践できるアクティビティ体験を取り入れた研修を行うなど、実践的な指導方法を学ぶ研修を設定する必要がある。



▲ALTを活用するなど教員の英語力を向上させる研修会を検討する。

(4)名寄市の天文家 木原秀雄氏を題材にした郷土教材「子らに夢を与えて」の作成および道徳公開授業研修会

資料6・7・8

成果：○木原氏を題材に読み物教材としての形ができあがった。
○内容項目「努力と強い意志」に沿った授業研究を深めることができた。



課題：▲読み物教材について、今年度は対象学年を小学校高学年用に作成したが、表記が難しい部分もあり、来年度は更に読みやすい文章にしていかなければならない。

▲内容項目について、本教材を通して子供たちにどのような力を身に付けさせたいかをもう一度吟味し、項目に沿った内容で文章の再構成が必要である。



▲「特別の教科 道徳」についての評価について、来年度の中学校での本格実施に合わせ、年度当初に名寄市全体で評価の方法や表記について交流する時間の設定も有用であると考えます。

(5)第2回体育実技研修会

資料9

成果：○プレゼンでは講師の実践が具体的に紹介され、指導過程・教材・評価等の工夫について研鑽を深めることができた。

○経験運動など子ども達の運動能力を育てるメニューを学ぶことができ、受講者にとっても有意義な内容であった。

○新学習指導要領における中学年のマット運動の取組が説明され、指導のポイントを学ぶことができた。



課題：▲参加した教員の多くは、実践的な指導方法について学ぶことを望んでおり、今後もより実践的な指導方法を学ぶ研修を設定する必要がある。特に、児童の運動能力を高めるコーディネーショントレーニングに強い関心がある。



(6)平成30年度新体力テストの結果について

対 象：名寄市内全小中学校 児童・生徒

今年度より市内全校で新体力テストを実施し、その結果集約を、「小学5年・中学2年」から「全学年」に広げた。

小学校5年生・中学校2年生については、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の全国・全道平均値との比較や経年変化を見取り課題を明確にすることで、小・中学校ともに、5・6種目の記録が平成29年度の全国平均値を上回る結果となった。特に、これまでも課題とされてきた「50m走」（走力・スピード）については、小学生女子・中学生女子において昨年度の名寄市の平均値を上回る結果が出ており、指導の成果が表れる傾向が見られた。また、他の学年については種目別得点と総合評価基準で男女それぞれの学年の傾向をおおよそ把握することができた。小学校においては、日本レクリエーション協会のホームページで公開されている平成29年度の全国平均値と比較すると、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「立ち幅跳び」の5種目の記録が「ほぼ全国平均と同記録」または「やや上回る」という傾向であった。

次年度以降も、情報の蓄積による全国値との比較や経年変化などの見取りから市内全体の児童生徒の体力向上のための取組を推進していきたい。

5 成果と課題

【成果】

- 道徳について、郷土教材を使用し、授業実践を行ったことで、指導を進める上での留意点などについて、グループ内での理解を深めることができた。
- 外国語科について、小学校を中心に授業実践をする上での課題を共有し、ウォームアップの方法やアクティビティの実際について発信できた事は大きな成果といえる。
- 体育実技研修について、講師を招いての研修は大変有意義であり、専門的な内容をわかりやすく解説していただいたことで、指導においての知識を深めることができた。

【課題】

- ▲それぞれのグループの取組を自校の教員にしっかりと還流していく。
- ▲外国語科や道徳の評価について研修を深めていく。
- ▲授業研究の日程が他のグループと重なった日があったので、研究主任同士で定期的に研修の内容や実施日を調整していく必要がある。
- ▲授業時数等の関係で研修に所員や他の教員が参加しやすい時間の設定や内容の更なる精選をしていくことが必要。
- ▲次年度も児童の運動能力を高めるコーディネーショントレーニング等の具体的指導方法の研修を行いたい。